

-DX,GX 推進による食品・生物産業の創出-

気候変動や社会的課題への対応が求められる現代において、デジタルトランスフォーメーション(DX)やグリーントランスフォーメーション(GX)の推進が、食品・生物産業においても不可欠な要素となっています。これからどのように新たな価値を創造し、また脱炭素経営をしていけばよいのか。各分野の第一線で活躍する専門家から、具体的な事例や実践的な知見をふまえたヒントをいただきます。また企業PRと交流会を通じてシーズ&ニーズビジネスマッチングを図ります。

2024.9.26 木 13:00~(12:10受付開始)

会場 グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター) (静岡市駿河区東静岡2-3-1)

定員 会場100名 (先着順)

参加費 無料 (交流会は交流会費5,000円 (主催団体の会員は3,000円))

プログラム

13:00 主催者挨拶

13:05 基調講演



「気候温暖化対策の国際的枠組みと農林業土地利用の役割
-COP28とIPCC最新報告を踏まえて」

一般財団法人林業経済研究所 フェロー研究員 藤原 敬 氏

14:15 講演①



「食品・化粧品産業のエビデンス取得サポート事例について」

同志社大学大学院 生命医科学研究科

アンチエイジングリサーチセンター/糖化ストレス研究センター

教授 米井嘉一 氏

15:10 講演②



「2050カーボンニュートラル脱炭素経営を進めるために」

公益財団法人静岡県産業振興財団

企業脱炭素支援センター 業務アドバイザー 竹島寿夫 氏

16:00 企業PR 静岡県内食品関連企業を御紹介いたします！

16:55 閉会の挨拶

交流会17:15~18:30 (1階カフェ・レストラン bakery&cafe GALLEY (ギャレイ))

申込方法

①氏名、②所属、③交流会の参加有無、④返信メールアドレスまたはFAX番号を明記の上、電子メールsk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp、またはFAX 054-278-3066)までお申込みください。

交流会費は当日現金でお支払ください。(交流会費5,000円 (会員は3,000円))

申込期限

9月24日 (火) まで

問合せ先 静岡県食品技術研究会事務局(静岡県工業技術研究所食品科)渡瀬・山本・堀池
電話：054-278-3026 メール：sk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp

主催：静岡県食品技術研究会、静岡大学食品・生物産業創出拠点 共催：静岡県工業技術研究所
後援(予定)：公益財団法人 静岡県産業振興財団、静岡大学グリーン科学技術研究所



講師の紹介と講演概要

藤原 敬（ふじわら たかし）氏

一般財団法人林業経済研究所 フェロー研究員、一般社団法人持続可能な森林フォーラム 代表
林業の経済学に精通し、持続可能な森林管理や環境保護に関する研究を長年行っている。豊富な知識と実践経験を基に、地球環境の未来に向けた提案を行うエキスパート。

「気候温暖化対策の国際的枠組みと農林業土地利用の役割-COP28とIPCC最新報告を踏まえて」



気候変動が世界的な課題となる中、国際的な温暖化対策の枠組みと其中で農林業の果たすべき役割が重要視されています。本講演では、COP28で議論された内容やIPCCの最新報告を基に、農林業における土地利用がどのように貢献できるかについて解説していただきます。持続可能な未来を築くための具体的な提案や戦略について学びます。

米井 嘉一（よねい よしかず）氏

同志社大学 生命医科学部 アンチエイジングリサーチセンター／糖化ストレス研究センター 教授
アンチエイジングと糖化ストレスに関する第一人者。これまで数多くの研究成果を上げ、健康寿命延伸のための先端研究に取り組まれています。

「食品・化粧品産業のエビデンス取得サポート事例について」



食品や化粧品産業において、製品の安全性や有効性を科学的に証明するエビデンスの取得は、消費者の信頼を得る上で欠かせません。アンチエイジングや糖化ストレスに関する研究で培った知見を活かした、エビデンス取得における実践的なサポート事例をご紹介します。

竹島 寿夫（たけしま としお）氏

公益財団法人静岡県産業振興財団 企業脱炭素支援センター 業務アドバイザー

企業の脱炭素化支援において、戦略的なアドバイスを行う専門家。企業の持続可能な発展に向けた実践的な知識と豊富な経験を活かし、産業界への貢献を続けています。

「2050カーボンニュートラル脱炭素経営を進めるために」



2050年までにカーボンニュートラルを達成するためには、企業経営における脱炭素化の取り組みが不可欠です。企業の脱炭素支援の専門家として、具体的な実践事例や成功事例を紹介しながら、どのようにして脱炭素経営を進めるかについて、食品関連企業向けに解説していただきます。

申込方法

①氏名	
②所属	
③交流会 交流会費5,000円 (主催団体の会員は3,000円)	参加・不参加
④返信メールアドレスまたはFAX番号	

①～④を明記の上、[メールsk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp)、または
FAX 054-278-3066で、お申込みください。(締切り9/24(火)まで)

問合せ先 静岡県食品技術研究会事務局(静岡県工業技術研究所食品科)渡瀬・山本・堀池
電話：054-278-3026 メール：sk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp



主催：静岡県食品技術研究会、静岡大学食品・生物産業創出拠点 共催：静岡県工業技術研究所
後援(予定)：公益財団法人 静岡県産業振興財団、静岡大学グリーン科学技術研究所